

## 編集後記

東京大学を定年退職後、2020年4月に東京理科大学の総合研究院に嘱託教授として着任して、研究室を立ち上げました。ちょうど新型コロナウイルス COVID-19の猛威が世界中に吹き荒れ始めたときで、東大での最終講義は延期となり、研究室の引っ越しも苦労しました。着任してからも行動制限が続き、理科大の皆様と直に話すことができない状況の中で、総合研究院に懇談会という新しい融合研究領域を立ち上げるチャンスがあることを知りました。理科大の研究者と交流を深める絶好の機会だと思い、田所先生と相談しながら金属錯体と関わる20名のメンバーを募り、2020年秋に機能性錯体懇談会を立ち上げました。2022年秋からは新メンバーを加えて2期目の懇談会活動を行っています。

「金属錯体」は化学のみならず、生物科学から物理学、工学まで、多くの研究領域に関わっています。その研究の幅広さを読者の方にご理解いただくために、本特集号には、異なるトピックスについて6名の懇談会メンバーに執筆していただきました。

青木伸先生は、金属錯体、金属イオン、有機分子を配位結合や他の非共有結合によって集積させて合成した触媒活性、光特性、生理活性を有する超分子に焦点をあて、新しい物質開発戦略の方向性を示しています。佐竹彰治先生は優れた光機能を持つポルフィリンを環状集積したユニークな構造を合理的に合成するまでの研究戦略と実験結果解釈を通して、オリジナルな研究を追求する研究者の姿を描いています。田所誠先生は、金属錯体間に水素結合をもつ多孔質結晶のプロトン共役電子移動(PCET)など、新しい分子性固体の科学を紹介しています。根岸雄一先生は、極微細な金属クラスターに関する研究を行っており、特に一次元に金属クラスターを連結する研究を通して、最先端の物質科学を示されています。大坪主弥先生は、金属錯体をベースにしてボトムアップ的に形成されるナノチューブ構造の内部の疎水性空間に包接された特殊な水分子集積構造と超プロトン伝導性を解説しています。長島佐代子先生は、金属錯体二次元物質である配位ナノシートに関して、界面を用いたユニークな合成法とエネルギー貯蔵材料、電極触媒、センシングデバイスなどの機能性材料への応用を紹介しています。本特集号によって、理科大の金属錯体の研究がバリエーションに富み、最先端であることをご理解いただけることを願っています。

〔西原 寛：総合研究院〕

## 次号予告

### 特集：経営のサイエンス

- 特集について
- 経営学部の取り組み
- 経営学科のアプローチ
- ビジネスエコノミクス学科のアプローチ
- デザインをサイエンスする  
—国際デザイン経営学科のアプローチ

## 編集委員会 編集委員

渡辺 一之	名誉教授
田所 誠	理学部第一部 化学科
村上 秀俊	理学部第一部 応用数学科
佐々木健夫	理学部第二部 化学科
藤沢 匡哉	工学部 情報工学科
後藤田 浩	工学部 機械工学科
原田 陽介	薬学部 生命創薬科学科
石塚 正基	創域理工学部 先端物理学科
垣野 義典	創域理工学部 建築学科
増田 信之	先進工学部 電子システム工学科
井出野 尚	経営学部 経営学科
神野 潔	教養教育研究院 神楽坂キャンパス教養部



東京理科大学 二村記念館 近代科学資料館

**SCIENCE FORUM** 科学フォーラム 通巻 436 号 (創刊 1984 年 7 月)

2023 年 8 月発行 / 第 40 巻 4 号

発行人 浜本 隆之 (学校法人 東京理科大学理事長)

編集人 渡辺 一之 (編集委員会 委員長)

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

TEL : 03-3260-4271 (代)

<https://www.tus.ac.jp/about/information/publication/forum>



お問い合わせは、本学広報課にお願いします。

TEL : 03-5228-8107, FAX : 03-3260-5823

理大 科学フォーラム編集室 (担当: 亀山 亜土, 坂口 奈織美)

e-mail : [henshu@admin.tus.ac.jp](mailto:henshu@admin.tus.ac.jp)

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

印刷・製本 精興社

禁無断転載